



# 主要な農作物の生育情報

平成27年度 第2号

(平成27年5月11日)

福島県農林水産部農業振興課



## 【作物】

### 1 水稲

移植栽培用の播種作業は、盛期（50%終了）が平年並の4月16日、終期（95%終了）が平年より1日遅い4月25日でした。

湛水直播栽培は、4月下旬から播種作業が始まっています。また、移植栽培も、早いところでは4月下旬から田植えが始まっています。本田での作業は、できるだけ風がなく暖かい日に行い、水管理をていねいに行うことで初期生育を確保しましょう。

### 2 小麦（農業総合センターの作柄解析試験より）

出穂期は、平年に比べ5日～10日早まりました。生育は、草丈が平年より長く、茎数が平年より少なくなっています。葉齢は、本部（郡山）と浜地域研究所（相馬）では平年より少なく、会津地域研究所（会津坂下）では平年より多くなっています。

表1 小麦の生育状況\*

調査場所	品 種	は種期 (月.日)	出穂期 (月.日)	5月1日調査**		
				草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉齢
本 部	きぬあずま	10.20(+1)	4.24(-10)	75.6(114%)	576(88%)	10.0(-0.3)
浜 地 域	きぬあずま	10.27(±0)	4.26(-9)	83.2(135%)	603(86%)	10.3(-0.5)
本 部	ゆきちから	10.20(+1)	-(-)	69.2(119%)	551(72%)	12.0(-0.7)
会津地域	ゆきちから	10.3(-1)	-(-)	45.7(118%)	722(96%)	12.0(+0.2)
本 部	ふくあかり	10.20(+2)	4.23(-5)	78.6(111%)	479(69%)	10.4(-0.5)

※農業総合センター本部(郡山)・会津地域研究所(会津坂下)・浜地域研究所(相馬)の調査による。

( )内の数字は平年(前5年平均)との比較。「ふくあかり」は準平年(前3年平均)との比較。

## 【野菜】

### 1 アスパラガス

半促成栽培は、県北・会津地方では4月中下旬に春取りが終了し立茎が行われています。南会津地方では5月上旬まで収穫が行われ、その後立茎が始まる見込みです。

露地栽培は、会津平坦部では平年並の4月中旬から、会津山間部では4月下旬から収穫が始まり、今後収穫量が増加する見込みです。

### 2 きゅうり

県中地方の半促成（無加温）栽培は、平年並の4月下旬から収穫されています。露地栽培の播種は、早いほ場で平年並の4月中旬から行われており、定植は5月下旬を中心に行われる見込みです。

病害虫では半促成（無加温）栽培において、ハダニ類やアザミウマ類の発生ほ場割合が高いため、注意が必要です。

### 3 トマト

県南地方では、2月下旬から3月上旬は種の作型で、4月上旬の低温の影響により一部で苗の生育がやや遅れましたが、現在は平年並に回復しています。定植は、平年並の4月中旬から5月上旬に行

われました。

南会津地方では、昨年より2日遅く4月10日から共同は種が行われ、また、各農家への仮植苗配布は、昨年より3日遅く5月1日から6日に実施されました。苗の生育が良く、ほ場準備の進捗状況も良好なことから、定植作業は平年並に5月中旬から随時行われる見込みです。両地方ともに病害虫の発生はほとんど見られません。

#### 4 春ブロッコリー

県南地方では、資材のべたがけ栽培の体系で平年並の3月下旬から4月上旬にかけて定植が行われました。乾燥の影響により収穫は平年より遅れ、5月下旬頃から増加する見込みです。

病害虫ではアオムシの発生が見られるため注意が必要です。

### 【果 樹】

#### 1 果樹研究所における生育状況

(1) ももの満開は「あかつき」「ゆうぞら」とともに4月17日で平年より4日早い状況でした。

(2) なしの満開は「幸水」が4月22日、「豊水」が4月19日で、各々平年より5日早い状況でした。

(3) りんごの満開は「つがる」「ふじ」とともに4月25日で、各々平年より6日早い状況でした。

(3) おうとうの満開は「佐藤錦」が4月22日で平年より3日早い状況でした。

(4) ぶどうの展葉は「巨峰」が4月22日で平年より3日早い状況でした。

表2 開花状況

樹 種	品 種	開花始め			満開		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
も も	あかつき	4月12日	4月15日	4月14日	4月17日	4月21日	4月19日
	ゆうぞら	4月12日	4月16日	4月15日	4月17日	4月21日	4月20日
な し	幸 水	4月17日	4月23日	4月21日	4月22日	4月27日	4月26日
	豊 水	4月13日	4月19日	4月16日	4月19日	4月24日	4月23日
りんご	つ が る	4月21日	4月26日	4月25日	4月25日	5月1日	4月29日
	ふ じ	4月22日	4月27日	4月25日	4月25日	5月1日	4月29日
おうとう	佐藤錦	4月16日	4月19日	4月17日	4月22日	4月25日	4月23日

注) 平年値は、1981～2010年の平均値(オウトウは1994～2010年)。

#### 2 栽培上の留意点

##### (1) 防霜対策

開花期から幼果期にかけては、耐凍性が最も弱まる時期ですので、気象情報には十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。

事前対策として、防霜資材の手配と準備は必ず行うとともに、地温の上昇を図るため、下草は5cm程度に刈り込みましょう(地際部まで刈ると放射性物質をまきあげるので注意しましょう)。

また、空気や土壌が乾燥している場合は適宜かん水を実施し、土壌水分の確保に努めましょう(乾燥条件は気温の低下を助長します)。

降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉を徹底し結実確保を促しましょう。

##### (2) ももせん孔細菌病

県北地方では、4月中旬の春型枝病斑の発生ほ場割合が高い状況となっています（病虫害防除所、平成27年4月24日付け病虫害発生予察情報注意報第1号）。

第一次伝染源の春型枝病斑は開花期以降に発生し、降雨に伴って病原菌が分散し新梢葉に感染しますので、昨年発生が見られた園では、落花直後及び落花10日後に必ず本病の防除剤を散布し、初期感染の防止に努めましょう。

また、春型枝病斑やこれに類似する疑わしい枝枯れ等は、見つけ次第徹底してせん除しましょう。

## 【花 き】

### 1 コギク

県北地方の8月咲きの定植は、平年並の4月21日頃から行われました。定植後は、高温乾燥のため一部で生育が停滞しています。9月咲きの定植は、平年並の5月上旬から行われています。病虫害の発生は特に見られません。

### 2 リンドウ

安達地方は、萌芽が早まり生育がやや進んでいます。4月下旬から高温少雨に経過していることから干ばつによる生育の停滞を回避するため、必要に応じかん水を行いましょう。

喜多方地方の山間部では、融雪が遅かったことから萌芽が遅れ、やや生育が遅れています。平坦部では平年並の生育です。

南会津地方では、4月中下旬の高温により生育が進み、節数、草丈とも十分に確保されています。南会津地方の東部地区でハダニ類の発生が見られます。

## 【飼料作物】

牧草の生育は平年並かやや早めの状況で、5月中旬頃から収穫が行われる見込みです。

飼料用とうもろこしは播種適期を迎えています。4月下旬に播種したほ場では発芽が確認されています。

◎ 病虫害の発生状況や防除情報については、病虫害発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/teiki-2014-tpo.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>